

郷土を愛する強い思いが、更なる夢を育て、人を動かす。



小牧野遺跡を愛してやまない  
大橋 憲元さん  
「ストーンサークルヘリテージ」代表

沸き起これ、縄文ムーブメントを胸に、挑戦し続ける。遺跡を舞台に、縄文、未来、人をつないでいきたい。



「初」 めて小牧野遺跡のストーンサークルを見た衝撃は今でも忘れられません。

笑顔でそう語るのには、キャンドルアーティスト大橋憲元さん。「お墓？モニュメント？市内を一望できる小高い場所に、なぜ石を運び並べたのか？わからないことだらけ。でも逆にそこが面白い！と、魅力に惹き込まれてしまったんです」。3年前、20年間暮らした仙台から実家のある青森市に帰郷。現在は、キャンドルアートをはじめ縄文遺跡を舞台にさまざまな活動を行っています。

小牧野遺跡をテーマに、文化財と自然との一体的な保護を目指し活動しているグループ「こまきの自然学校」(児玉大成代表)が主催するイベントにも、キャンドルアートアドバイザーとして参加。小牧野遺跡や国際芸術センター青森に約1000本のキャンドルを灯したり、青函連絡船八甲田丸、あおもり雪灯りまつりの会場などでキャンドルアートの活動を展開してきました。

こまきの自然学校とは

「小牧野遺跡」(青森市)で、主に子どもたちや親子連れを対象とした体験活動メニューを提供。子どもたちに、こまきの自然学校での体験を通して遺跡や自然保護について考えるきっかけをつくっている。

児玉代表は「ストーンサークルで有名な遺跡から見下ろす景色、川の水音：縄文時代から変わらないであろう自然環境を現地で体感してほしい。」と話している。

こまきの自然学校の活動について詳しくは

こまきの自然学校 ブログ

Q 検索

「小」 小牧野遺跡はもともと祭祀の場で、人々が集う場でした。だから、現代の集いの場としてうまく活用していけば面白いのでは？」。自然学校の活動を通じて、

そう感じるようになった大橋さんは、昨年6月、県内外のクリエイターらと「ストーンサークルヘリテージ」という会を結成。

「土器や装飾品などを見るたび、縄文人の高度な芸術センスに驚かされます。それが後に、

刺し子などの手仕事へと受け継がれていったのかも知れませんが、アートの息づいていた遺跡を舞台に、音楽やアートなど若い世代にアプローチできるイベントを仕掛けていきたい」と、この先の抱負を語ってくれました。

さらに、青森の自然をフィールドに縄文文化を体感する縄文式自然体験活動にも取り組むたいと、現在、資格取得に向けて勉強中。「たき火や虫捕りなどをする子どもたちの顔は、本当に生き生きしているんです。将来は山小屋を作り、そこを拠点に子どもたちと活動したい」。縄文から学び、縄文と遊ぶ大橋さん。想いを共有する仲間が増え、その輪が広がっています。

縄文遺跡群の世界遺産登録に向け、県では各種メディア等を活用した「新たな縄文の楽しみ方」の発信や、各地で遺跡の活用に取り組んでいる団体との協働によるイベントの実施など、新たな縄文ファンの獲得による気運醸成に取り組んでいます。

世界遺産登録に向けた平成25年度の主な事業



さんまるムラづくり体験事業

縄文文化に対する理解の浸透と三内丸山遺跡の新たな魅力創出のため、公募による一般県民や学校等を対象に、縄文の家づくり体験や縄文体験交流イベント等を実施します。縄文時遊館 電話 017-781-6078



世界遺産縄文講座・縄文語り部教室

縄文遺跡群を次の世代へ引き継いでいくため、児童生徒を対象とした縄文講座を開催。また、県民が縄文文化に親しめる機会として、縄文語り部教室を開催します。文化財保護課 電話 017-734-9922



国際的合意形成促進事業・4道県共同国内フォーラム開催事業

縄文遺跡群の学術的価値を国内外へ浸透させるため、国際会議の開催やユネスコ世界遺産委員会でのPR活動、また、東京及び4道県においてフォーラムを開催します。文化財保護課 電話 017-734-9922



三内丸山遺跡縄文アートフェスティバル

三内丸山遺跡全体を会場に、「Feel The Roots」(ルーツを感じよう)をテーマに繰り広げられるアートと音楽の祭典。数々のワークショップも開催され、あらゆる世代が楽しめる1DAYイベントです。地域活力振興課 電話 017-734-9075



青森EARTH 2013展

青森の「縄文」に創造の原点をたずね、「土着」の意義を見直し、土(earth)に根ざした新しいアート(art)の形を、青森の地で多角的に探求するために開催します。会期:6月15日(土)~9月1日(日) 会場:青森県立美術館 電話 017-783-3000

【多言語対応遺跡解説板等の作成(三内丸山遺跡)】

海外からの見学者に遺跡の価値が伝わるよう、英語・中国語・韓国語に対応した遺跡解説板を設置し、また、同言語対応のホームページも作成します。文化財保護課 電話 017-734-9924